

抗 議 文

アメリカ合衆国大統領

バラク・フセイン・オバマ・ジュニア 閣下

貴国は、2010年11月と2011年3月に続き3回目の新たなタイプの核実験を2011年夏に実施した事実を「備蓄核兵器管理計画として実施された諸実験」の中で発表した。

核爆発を伴わないとはいえ、今回の行為は本市をはじめとする核兵器廃絶を願う国際世論、また核実験中止を求める多くの声を無視し、核軍縮を希求する国際社会はもとより貴殿が掲げる「核兵器なき世界」に逆行する行為であり、誠に遺憾である。

また、この新たなタイプの核実験は、貴国が今後も核兵器を持ち続ける意志を表したものとも受け取れる行為である。この度の核実験に対して強い憤りを覚えるとともに、三次市民を代表して貴国の度重なる核実験に厳重に抗議し、今後において全ての核実験の中止を強く求める。

貴国が、広島で被爆され現在もなお苦しんでおられる多く人々の心を深く理解し、核兵器のない平和な世界の実現に向け、全力を尽くすよう強く要請する。

平成24年（2012）1月6日

日本国広島県三次市長 増 田 和 俊